

---

良いところって  
なんなんだろう？

沖縄県立大平特別支援学校  
澤岬 圭祐

---

# これまでの実践を振り返って

ワンド

宿題



大学受験

- 大学進学を目指す生徒の受験に向けたテクノロジーの活用

種

言葉



手段の保障

- 書字や読字等の困りに対するテクノロジーの活用



# これまでの実践を振り返って

ダイアリー



Wallet



- 生活に根ざした場面を設定。
- 生徒自身の良さを伸ばし、発揮できるように



# これまでの実践を振り返って

medicine



- 得意なことを活かして  
学べるように



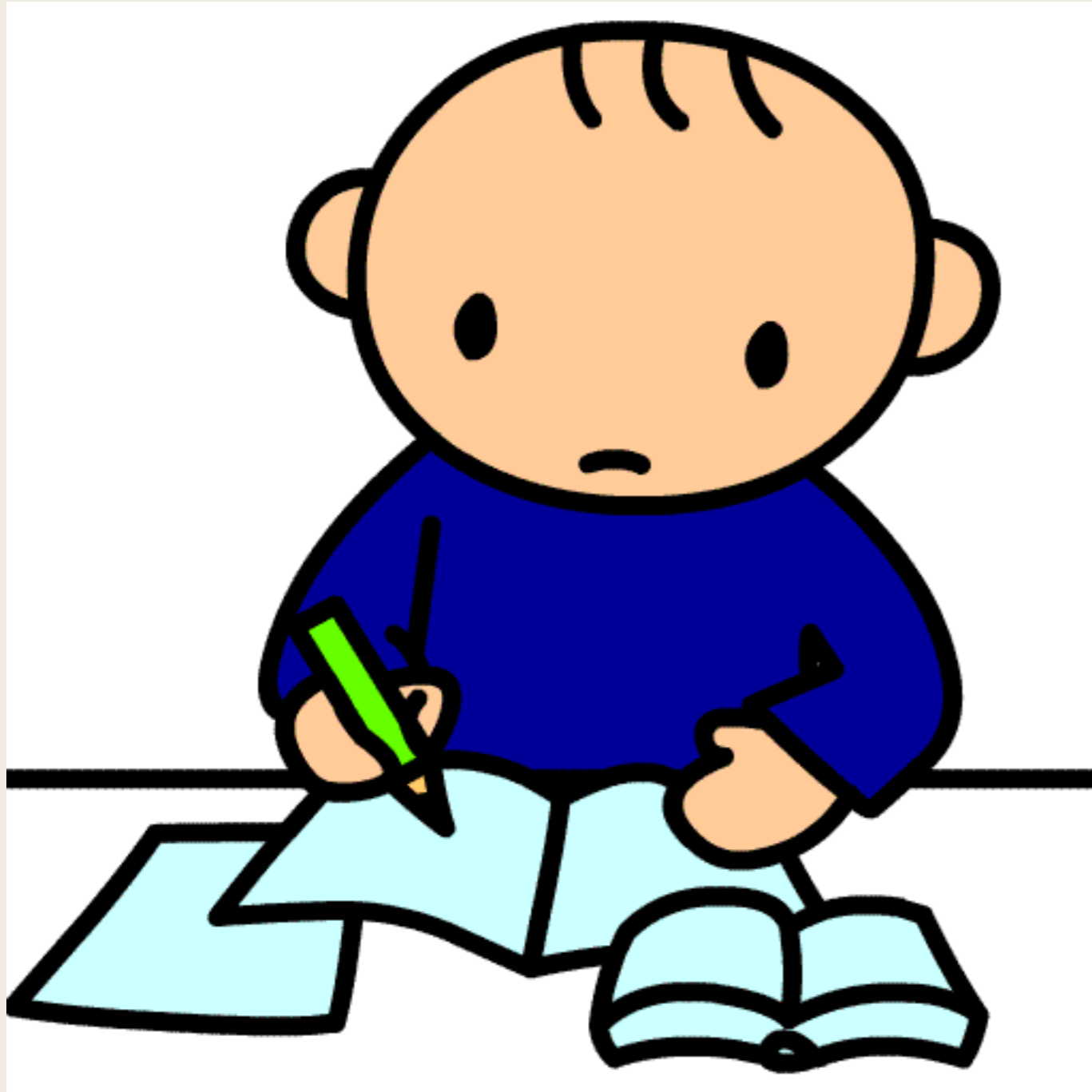
彼らの「良さ」をきちんと評価できているのか？

今年度は

Measure



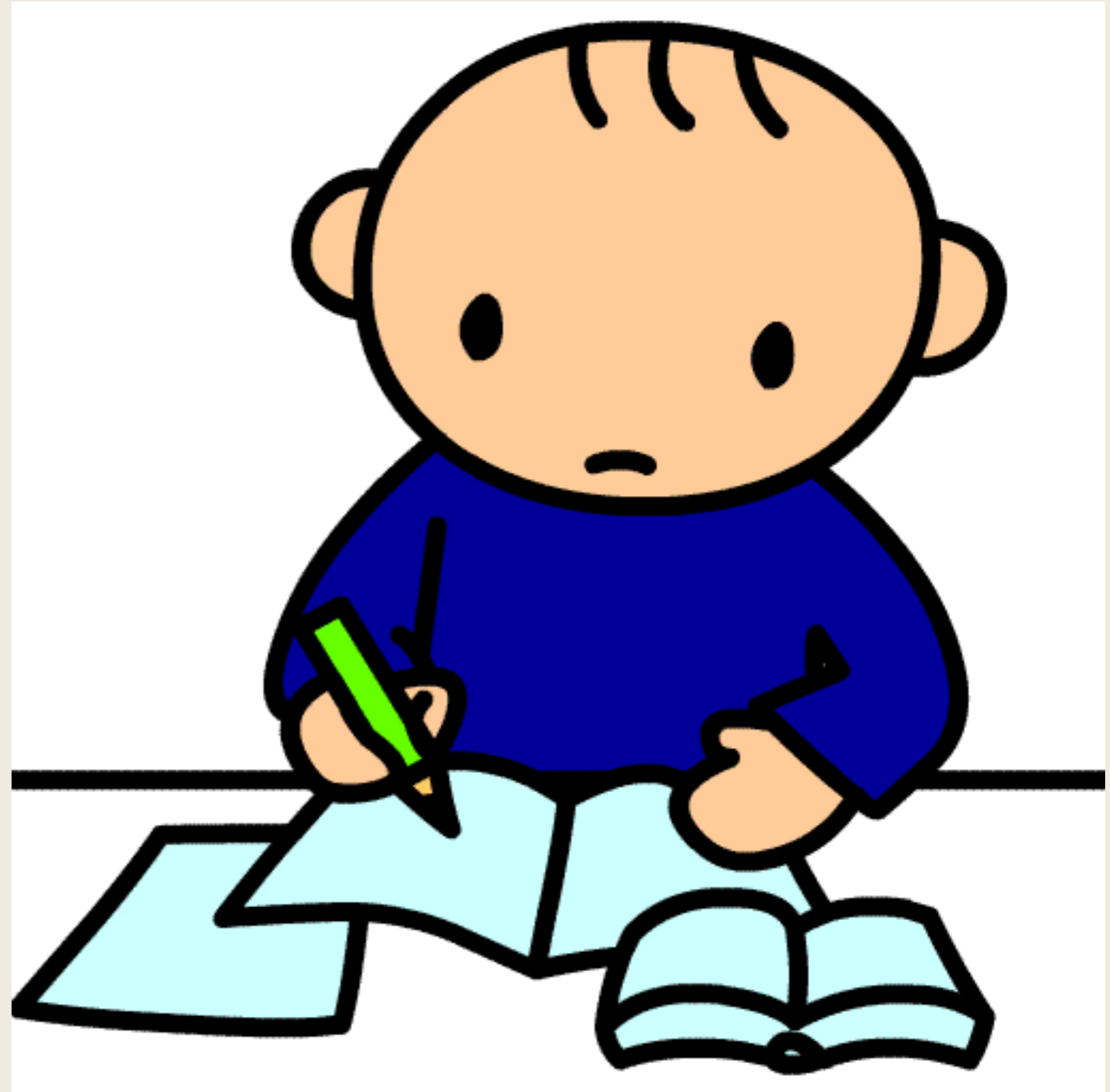
# 対象の生徒



- 高等部2年生男子
- 高等部より本校に入学
- 気に入らない授業をさぼったりすることが多々見られる。
- ごみ収集のバイトをしており、一生懸命働いている。
- 担任が手を焼いてるなという第一印象。

# 彼との出会い

- 壊れたライトを直している姿を目撃
- 機械いじりが好きなのかな
- マイクロビットを紹介して、「興味があるならやってみる？」と声をかけたのがはじまり。
- 楽しめるものがあったらいいなと思ってはじめた。



---

# ちなみに・・・

今回の実践でプログラミングができるようになるつもりはありません。

- プログラミングという言葉の定義についてどうなのかは難しいところです。
  - また、障害のある児童生徒に対してプログラミングを指導できるのかというような議論もあると思います。
  - どちらも大切なテーマだと思いますが、今回の実践ではそのような議論については触れませんのでご了承をお願いします。
  - 少なくとも、「将来プログラマーにしたい」「プログラミングを教えたい」わけではありません。
-



# 対象の生徒



- Pepper用のプログラミングツールの理解はできている。
- プログラミングに対してはとても意欲的に取り組んでいる。
- 普段遅刻することも多いのに、朝も早めに来てPepperにプログラミングをする姿も。
- その中でいるんなことを発見できた。

# ある日 . . .



気を使ったり、人を思いやることができる

# 彼と過ごして感じること

- 彼の持っている良さは教師も知っている。
- ただし、彼はもっともっとたくさんの良さを持っている。
- その部分をきちんと評価しきれていないことが問題・・・
- 彼の持っている良さをもっとアピールしていけるように取り組んでいくのが重要なのではないか。

彼の良さを評価できる 「Measure」 を作りたい

彼の良さを評価できる 「Measure」 を作りたい



凸凹がある生徒に対して「Measure」は一つ？

「Measure」に生徒を合わせるのだけ？

- つまらなさ？
- 積み上がらないもどかしさ？

# 負のスパイラル

- 教師に怒られる
- 評価されない
- サボる
- 欠課

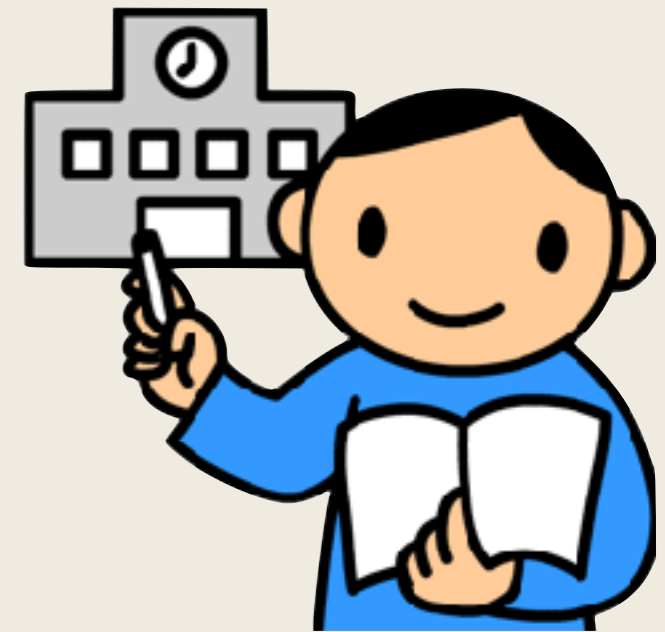
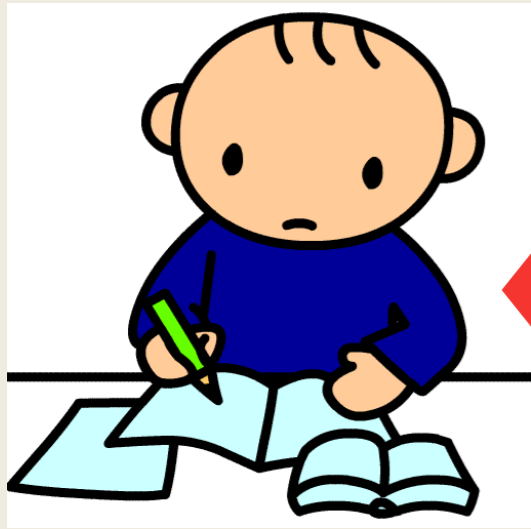
このスパイラルをどうにか解消できないか

# 負のスパイラルの解消

- 検査やテストだけではない、生徒の特性や認知についての  
実態把握の必要性
- 評価につながりやすい取り組みやフィードバックを  
得やすい取り組みの導入
- 生徒に適した学び

これらを取り組みを実践前だけでなく、  
進めながら調整していく

# 児童生徒へのメッセージ作り



- 生徒の「やりたい」を形にするためのプログラミング
- 夏休み期間中にオンラインでPepperのプログラミングを実施。
- 疑問や要望があればその都度相談する形式。
- **オンラインで行ったことで彼の課題も。**

# 出来上がったプログラム

みんなー  
夏休みどうだった？

2学期も頑張ろう



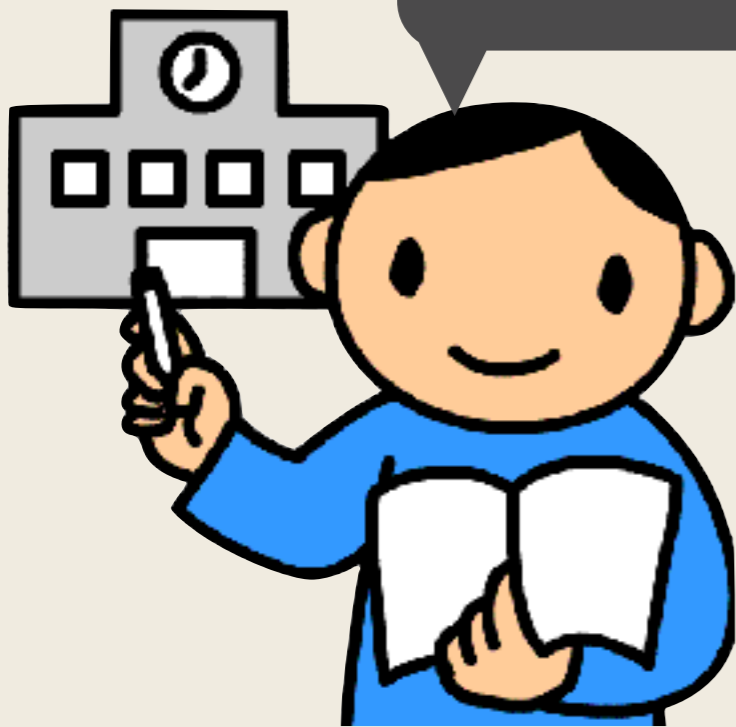




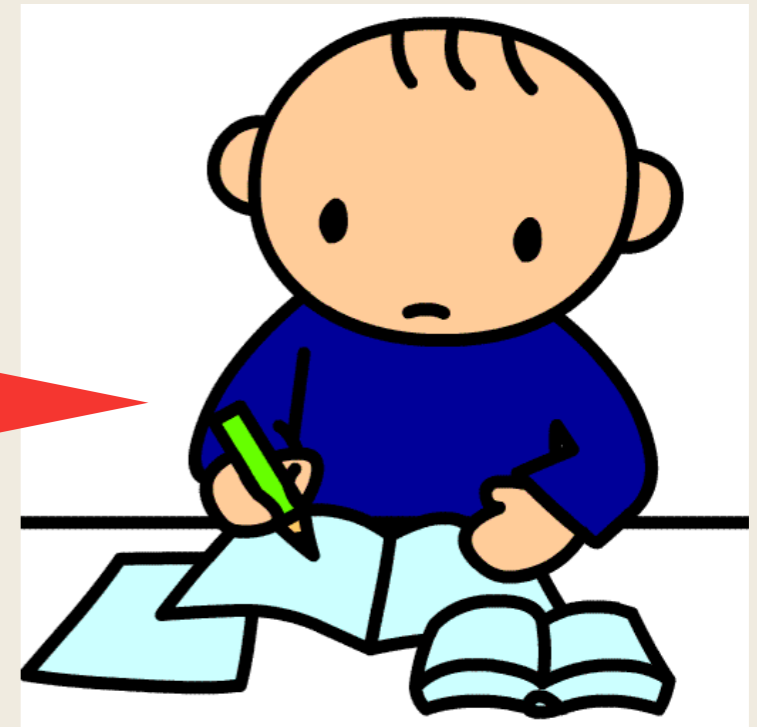
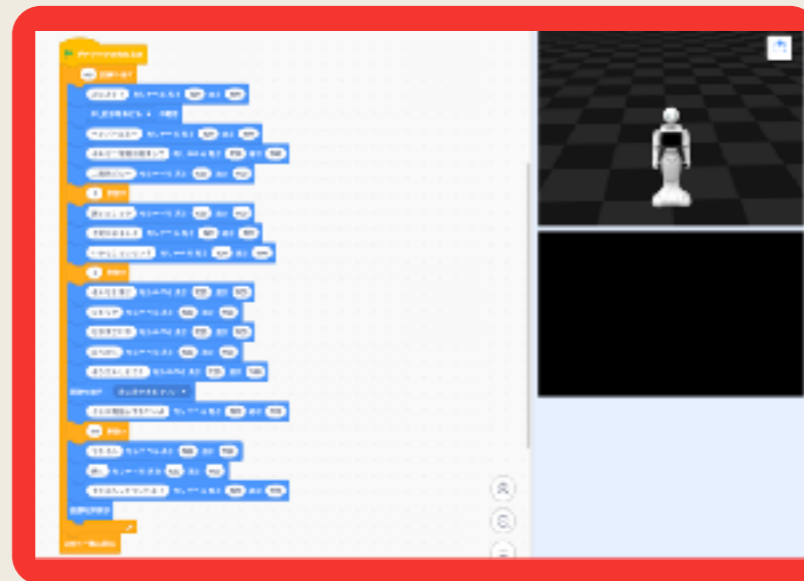
- 最初は恥ずかしがりながら「先生がやって」と言っていた。
- 自分で組んだプログラムを教師に説明する姿が見られるようになってきている。
- 「〇〇先生にも見てもらいたいな」というような発言も
- みんなに「2学期がんばろう」と思ってもらえるようなプログラムを組みたいというような発言も。

# 自殺予防週間の取り組み

新学期に向けて児童生徒のメンタルケアの取り組みをペッパーでできない？



生徒指導主任



分散登校の期間に作成  
(学校で作成)

# 自殺予防週間の取り組み



---

# これまでの変化と今後

- 多くの先生に褒められたことで**自信につながっている**様子が見られる。
- プログラミングだけでなく、**他の学習へも少しずつ良い影響**が出ている。
- 遅刻や欠課等にも**多少の影響**が見られる。

ただし、その変化の要因については**他の要素も踏まえながら**  
今後の取り組みの中でもう少し**客観的に見ていく**必要があると考えている。

---

---

# これまでの変化と今後

## 取り組みから見えてきたこと

- 注意が逸れやすい（集中力が続かないことがある）？
- 情報の整理があまり得意ではない？
- 場面の切り替えが意外に不得意？

認知の問題？経験の問題？その他？



情報の提示の仕方は彼にあっているのか？

ICTの使い方や場面についてのヒント

---